

会派視察・研修報告書

会派名 新生自民

代表者名 林 美行

1 日 に ち	令和6年11月13日（水）
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	島田市こども館
3 参 加 者	林美行、葉狩拓也、亀井芳樹、獅子野真人
4 調査・研修の テーマ	島田市こども館の活用について
5 主な内容	1. 市内在住の利用者の割合はどのようなか。 2. 市外からの利用者も多いと思うが、定員がオーバーすることはあるか。 3. 建設予算はどの程度であったか。また国県との負担割合はどのようなであったか。 4. 地域の学校や他の子育て支援施設との連携状況はどのようなか。 5. 今後、取り組むべき課題や新しい方向性はどのようなか。 6. 施設が貴市の人口減に歯止めをかけているのか。
6 所感、提言事項、課題等	【亀井芳樹】 J R 島田駅から徒歩4分の「島田市こども館」は、0歳の赤ちゃんから小学生までが楽しめる屋内プレイルームで、施設にはボーネルンド社の製品を使用した、想像力を育むことができる「静のあそび場」と、ダイナミックな動きができる「動のあそび場」があります。 設立の経緯は、中心市街地交流拠点施設を建設する際、老朽化し、耐震性に課題のあった中央児童センターの機能を移転・設置したということです。指定管理により運営（年間3,000万円）されており、朝10時から夜7時まで開館しています。4つの機能を備えており、①プレイルームぼるね②活動室③一時託児所④ファミリーサポートセンター事務局が設置されています。 年間来場者数は、H25に最大の11万人、コロナ禍は落ち着いてしまいましたが、現在は順調に来館者数を戻しており、昨年度は7万1千人程度。 アンケートを活用し、砂場を撤去し、遊具を備えるなど、利用者の声も反映されているようです。

6 所感、提言事項、課題等	大変にぎわいのある施設でしたが、駅前の活性化には至っていないため、本市においても、こども政策として実施するには大変有効ですが、駅前活性化には至らないことを教訓にし、政策提言に繋げていきたいと考えます。
	【葉狩 拓也】 島田市こども館は、地域の子育て世帯や子どもたちを支える拠点として、多様なサービスを提供する施設です。施設の運営状況や提供プログラムを学び、本市での子育て支援施策の参考とするために訪問しました。 施設は、市内外の0歳～12歳の子どもと保護者を主な対象に、屋内遊具エリアや児童館機能、一時託児、ファミリーサポートセンターなど多機能を備えています。さらに親子リトミックやアートワークショップなど、年齢に応じた多彩なプログラムが提供されており、子どもの成長を促す工夫が随所に見られました。また、地域の保育園や小学校と連携したイベントも実施されており、地域全体で子育てを支える姿勢が特徴的です。 運営体制としては、指定管理者の東海ビル管理(株)が運営しており、市の元保育士やアルバイトスタッフが活動を支えています。利用者の意見を反映させた柔軟な運営が行われている点や、時代の変化による多様なニーズに対応する姿勢が印象的でした。 子育て支援関連施設を駅前に集中させることにより、利用者も大変多く市民満足度が上がっている点は成功例だと思いました。ただ本来の目的である駅周辺の活性化には繋がっていないという課題も知ることができました。 今回の視察を通じ、地域と連携した柔軟な運営姿勢や、利用者の声を取り入れる仕組みが重要であると再認識しました。本市においても、子育て支援施設の多機能化や地域住民との協力体制強化を進めることで、子育て世帯を支える環境整備を目指すべきと考えます。

6 所感、提言事項、課題等	【獅子野 真人】 島田市こども館は、児童の健全な育成と地域における子育て支援を目的に開設された、多世代交流を促進する拠点施設です。乳幼児から小中学生とその保護者、さらには地域住民まで、幅広い世代が交流し、共に学び、成長できる場を提供しています。中核となるのは、ボーネルンド社製の遊具などを備えたプレイルーム「ぼるね」で、「静のあそび場」と「動のあそび場」に分かれ、乳児コーナーも設けられているため、子どもの発達段階や興味に合わせて安全に遊ぶことができます。 12年前に駅前の再開発事業の中で、賑わいの創出を目的に、こども館を整備されたそうです。とても良い施設ではあったものの、1階にあったスーパーが今年撤退してしまうなど厳しい現状を目の当たりにしました。こども館を多治見市にも作ることができればと思います、様々な面で検証が必要と感じました。
	【林 美行】 新金谷駅から車で10分、JR島田駅から徒歩4分という駅近のにぎわい施設でもある「島田市こども館」を視察しました。 施設は0歳の赤ちゃんから小学生の兄、姉までみんなが楽しめる屋内プレイルームです。 駅前に設置されていますが、駅前の賑わいづくりの核とはなっていないようでした。近くを中心商店街の通りには昔からの商店が残っていますが、駅周辺がにぎわいの拠点ではないと見受けられました。 子どものための屋内施設として需要はあるようですが、駅という立地の意味は薄く、公共交通と駐車場、公園などとの複合施設で規模の大きいものが、子どものための屋内施設としてはふさわしいと考えます。 子どものための屋内施設としては、有効な事業で、想像力を育むことができる「静のあそび場」と、他ではできないダイナミックな動きができる「動のあそび場」があり、子どもの成長が生まれるものと考えます。 プレイルームは、2時間入れ替え制(10:00～、12:30～、15:00～、17:00～)。広々とした空間で心ゆくまで思い切り遊べますが19:00～は子どもだけの入場はできません。 料金は、次のとおりでしたが、令和7年には料金が倍になるとのことでした。 回数券：児童1,030円、大人(市内)1,030円、大人(市外)2,080円 当日券：未就学児0円、児童100円、大人(市内)100円、大人(市外)200円 子どもの成長課題や発達課題に沿う子育て総合戦略のようなものを基礎とした政策体系を明確にし、子育て真っ最中の各家庭、多くの市民、事業者、行政がまち全体のビジョンを共有できるような取り組みが必要であると痛感しました。

7 写 真 等

※視察の場合は必須、
研修の場合は任意



※視察先、研修先ごとに1枚作成すること。

※「6 所感、提言事項、課題等」は、参加者全員分を記載すること。